

専門分野の日本語文における字音接辞 —自動車整備士試験問題の場合—

清水勝昭

1. はじめに

近年、短期大学、専門学校などの高等教育機関で自動車整備を学ぶ外国人留学生の数が増えている。また、技能実習生については2016年4月に技能実習職種の一つに自動車整備職が追加された¹。自動車を学ぶ留学生の増加や、技能実習生の職種追加の背景には、自動車整備業界からの人材需要の事情があると思われるが、これにともない、自動車整備の専門分野に関わる日本語教育の必要性も増している。

自動車整備分野の日本語の語彙の特徴としては、部品名称には英語由来の外来語が、また、作業、動作に関わる言葉には和語が多く使われる一方、工学分野の専門用語、専門的抽象概念を表す言葉には漢語が多く使用される傾向にある。自動車整備の学習者には、ベトナム、スリランカ、ネパールなどの漢字を苦手とする者が目立って増加しており、日本語教育に携わる者にとって教育上の工夫が必要となっている。

筆者は清水(2016)、清水(2017)において、自動車を学ぶ日本語学習者のための基礎データを提供することを目的とし、二級自動車整備士の筆記試験問題における二字漢字語の調査をおこなった。この調査の過程で、字音接辞を切り捨て、二字漢字語を抽出する作業をおこなったが、同時に、試験問題に多くの字音接辞が出現すること、それらはさまざまな二字漢字語に付属し、豊かな造語力を示していることを感じた。字音接辞のこの性質に注目し、これらを整理して学習者に提示すれば、学習上の有効なデータになるのではないかと考えた。

2. 字音接辞とは

一般に接辞とは、他の語(単純語または複合語²)に付いて語を形成し、新たな意味を与えたり文法的機能を変化させたりする要素で、それ自体は独立して語とならず、常に他の語に付属する。典型的な例としては、「非合法」の「非」、「反政府」の「反」、「効果的」の「的」、「可視化」の「化」である。接辞には語の前に付く接頭辞と、語の後ろに付く接尾辞があり、先に述べた「非」

1 国土交通省プレスリリース(平成28年4月1日付け)による。

2 単純語とは一つの形態素からなる語で、複合語は二つ以上の単純語が合成してできた語である。

「反」は接頭辞, 「的」「化」は接尾辞である。語種の点から見ると, 「非」「反」「的」「化」は漢語系の接辞であるほか, 「お風呂」の「お」, 「高さ」の「さ」, 「熱っばい」の「ばい」といった和語系の接辞や, 「アンチ巨人」の「アンチ」, 「バルトレス」の「レス」といった外来語系の接辞もある³。「字音」とは音読みのもので, 「字音接辞」とは漢語系の接辞を指す。先に示した「非」「反」「的」「化」はいずれも字音接辞の例である。なお, 接辞を含む語において, 接辞でない部分, 例えば「反政府」の「政府」の部分用語と呼ぶ。

ところで, 字音接辞の明確な定義は難しく, ある語を構成する要素が接辞であるか否かの判断は判断者の見方によって一定でない。前に示した接頭辞「非」, 「反」, 接尾辞「的」, 「化」は異論がないと思われるが, それらに比べてより具体的な意味を持つものの場合, 判断が難しくなる。例えば, 「超法規」の「超」, 「再申請」の「再」や「流動性」の「性」, 「円盤状」の「状」, 「変速機」の「機」や「速度計」の「計」, 「検査員」の「員」などはいずれも字音要素であり, かつ, それ自体は独立して語とならず, 常に他の語に付属する。この点, 典型的な字音接辞と同様の性質を持っているといえる。

また, 「空気量」の「量」については, 「空気量」とか「量が足りない」というように単独で語として用いるため, 接辞の定義に合致しない。品詞分類上は「名詞」である。しかし, 「含有量」, 「積載量」, 「吐出量」, 「発熱量」, 「噴射量」, 「オイル量」のように, 字音要素「量」が核となってさまざまな語を形成し, その点, 字音接辞に似る。

本稿においては, 典型的な接辞のみならず, より具体的な意味を持ち接辞に似た機能を持つ字音要素, さらには, 独立した語であるが接辞と似た造語力を持つ字音要素も含め, 接辞の定義を広く捉えることとする⁴。日本語学習の参考データに活用するという観点から, 類似の性質を持つ要素を広く拾おうとするものである。

3. 調査の概要

字音接辞の持つ豊かな造語力という特質を踏まえて, 接辞を核にして語彙をまとめたり, 意味, 機能で分類して語例を示したりすることは, 語彙習得に役に立つと考えられる。このことは特に, 字音語彙が増加する上級レベルや, 専門分野の学習に進んだ日本語学習者にとって一層有利となるだろう。自動車整備士教育においても, 例えば, 三級自動車整備士の教科書をざっと見ただけでも, 「車軸懸架式」「独立懸架式」「機械式」「油圧式」の「式」, 「油圧部」「制御部」「動力部」「接続部」の「部」, 「基準値」「規定値」「抵抗値」の「値」, 「操舵力」「制動力」「駆動力」の「力」など, 字音接辞の造語例が数多く見られる。

本稿では, 二級自動車整備士の筆記試験の問題文から, 字音接辞とそれを含む語彙を取り出し,

3 以上の接辞の例は, 姫野(2005)と山下(1995)を参考にした。

4 以下, 便宜上, 本稿においてはこれらを含めて「接辞(接頭辞・接尾辞)」と呼ぶ。

その量的調査を行ない、また、意味・機能による分類を試みた。データサンプルとしては、2015年3月と2016年3月に実施された自動車整備技能登録試験二級ガソリンならびに二級ジーゼル⁵を用い、問題文の本文ならびに選択肢として示された文を対象とした。複数種、複数年度の試験問題を選んだのは、単一の問題のみでは、問題の傾向により語彙に偏りが出ることからである。以下、調査の結果を述べるが、ここで提示する数字はすべて2015年と2016年のガソリンとジーゼルの問題を合わせたものであり、単種、単年では集計していない⁶。

今回の調査で抽出したものは、二字以上の漢語、外来語、和語に付いた字音接辞と、その語彙である。前項で述べた字音接辞の定義に基づき抽出を行なったが、以下、改めて抽出方針のポイントを整理する⁷。

第1点は、訓読みの接辞要素の除外である。字音接辞の「字音」とは音読みのことであり、漢字で表記される接辞であっても訓読みするものは対象外となる。データサンプルにおける例として、「通常型」「円筒型」の「型」（かた、がた）や、「吸入側」「受信側」の「側」（がわ）、「横方向」の「横」（よこ）などがある。これらは字音ではないので除外された。「注入口」の「口」は「くち（ぐち）」と読むか「こう」と読むかによって結果が異なってくる。本稿では「こう」と読み、字音接辞とした。

第2点は、より具体的な意味を持ち、厳密な意味で接辞と言えるかどうかははっきりしないが、単独で用いることができず、常に他の語に付き、豊かな造語力を示す字音要素も対象に含めたことである。これに属するものは最も多く、例えば、「潤滑剤」「着火剤」の「剤」、「駆動力」「操舵力」の「力」、「原動機」「変速機」の「機」、「燃焼室」「油圧室」の「室」などがある。

第3点は、「～量」に代表されるように、単独で語として用いることができるが、接辞に似た性質を持つ字音要素は対象に含めたことである。「空気量」「積載量」の「量」のほか、「過給圧」「エア圧」の「圧」⁸、「圧縮熱」「燃焼熱」の「熱」、「出力軸」の「軸」などがある。

第4点は、二字に満たない漢語に付いた接辞を除外したことである。「平座面」（ひらざめん）の「面」は一見、二字漢字語に付いた接辞に見えるが、その語構成を考えると、「平座」＋「面」ではなく、「平」＋「座面」である。「面」は二字漢字語に付いたものではない。従って、対象から除外された。

第5点は、一つの語の中に同時に接頭辞と接尾辞がある場合には、接頭辞と接尾辞の両方の語彙例として抽出したことである。「未舗装路」の「未」と「路」、「非走行時」の「非」と「時」

5 一般社団法人日本自動車整備振興会連合会のホームページに公開された問題文を使用した。

6 問題文中で、「……に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか」のように、試験問題を構成する上で繰り返し使用される常套的表現はデータサンプルから除いた。

7 接辞の抽出判断にあたり、以下に述べたポイント以外に、山下（1995）並びに三省堂国語辞典第4版を参考にした。

8 「圧を測る」のように単独で用いる。

などである。いずれも、接頭辞、接尾辞両方の語例とした。

「同軸上」は、「軸」という語の前後に接頭辞「同」と接尾辞「上」が付いたものとして考えられ、同時に二つの接辞があるが、「軸」は二字漢字語ではないため、上記第4点目の条件により、接辞の語例から除外された。一方、「上死点」「下死点」は接頭辞「上」「下」と接尾辞「点」が見られるが、「上死点」「下死点」は「死点」という語に接頭辞「上」「下」がそれぞれ付いたものと考えられる。従って、接頭辞「上」「下」の語例としてのみ抽出した。同様に、「半導体」については、接頭辞「半」と接尾辞「体」が見られるが、「半導体」は「導体」という語に接頭辞「半」が付いたものと考えられる。従って、接頭辞「半」の語例としてのみ抽出した。

4. 調査結果

以上の抽出方針に従い、調査をした結果、接尾辞が69個、接頭辞が29個であった。接尾辞を含む語はのべ数で607語、異なり数で267語あった。接頭辞を含む語はのべ数で88語、異なり数で56語あった。

接尾辞を含む語で多いものを挙げると、のべ数で順に「〇〇時」⁹、「〇〇式」、「〇〇性」、「〇〇量」、「〇〇値」、「〇〇力」、「〇〇圧」、「〇〇車」、「〇〇的」、「〇〇液」で、この10個で全体の約半数(51.8%)を占める。接尾辞を含む語の異なり語数では、多い順に「〇〇性」、「〇〇時」、「〇〇式」、「〇〇力」、「〇〇量」、「〇〇部」、「〇〇的」、「〇〇化」、「〇〇剤」、「〇〇率」で、この10個で全体の約半数(50.9%)を占める。

接頭辞を含む語では、のべ数で順に「熱〇〇」、「上〇〇」、「不〇〇」、「耐〇〇」、「高〇〇」、「無〇〇」で、この6つで全体の約半数(48.8%)を占める。接頭辞を含む語の異なり語数では、多い順に「耐〇〇」、「不〇〇」、「熱〇〇」、「高〇〇」、「無〇〇」、「軽〇〇」、「後〇〇」、「半〇〇」で、この8つで全体の約半数(55.3%)を占める。

ここで、のべ数と異なり数の違いについて述べると、例えば、「〇〇値」はのべ数では上位5位であるが、異なり数では上位に入っていない。のべ数は27回で、具体的には「規定値」で14回、「抵抗値」8回、「電流値」2回、「設定値」1回、「基準値」1回、「補正值」1回である。異なり数とは、同じことばで複数回出現しても1回(1語として)だけ数えるということで、「規定値」、「抵抗値」、「電流値」、「設定値」、「基準値」、「補正值」の6語だということになる。一方、「〇〇部」はのべ数では上位に入っていないが、異なり数では上位6位である。のべ数は14回で、具体的には「中央部」と「発熱部」がそれぞれ2回、「照明部」、「接地部」、「点火部」、「突起部」、「摩擦部」、「圧送部」、「下端部」、「過冷却部」、「記憶部」、「凝縮部」がそれぞれ1回ずつである。これを異なりで数えると、12語ということになる。このことから、「〇〇値」と「〇〇部」を比較

9 〇〇は接辞の付く語の語基の部分の意味し、例えば「〇〇時」で接辞「時」を含む語彙例であることを示す。便宜上2つの〇で表すが、実際の文字数が2つとは限らない。

すると、「〇〇値」の方がそれを含む語彙の出現頻度が高い、つまり、より多く目にすると言える。一方、「〇〇部」は、「〇〇値」ほど多く目にしないものの、より多様な語と結び付き、さまざまな語を形成していると言える。このように、のべ数と異なり数の比較により、それぞれの接辞の性質の違いがわかる。

5. 具体例の提示

二級自動車整備士試験問題における字音接辞の抽出作業の結果を提示する。提示するに当たっては、まず、量的な分類により、次に意味・機能により分類する。量的な分類では、出現のべ数の多いものと、異なり語数の多いものを、多い順に全体の上位半数まで提示する。

(1) 接尾辞一のべ数（上位半数）

「〇〇時」59回	(例)「回転時」(10回),「衝突時」(10回),「作動時」(9回)
「〇〇式」43回	(例)「制御式」(10回),「油圧式」(6回),「懸架式」(4回)
「〇〇性」41回	(例)「着火性」(4回),「熱可塑性」(4回),「熱硬化性」(4回)
「〇〇量」37回	(例)「吐出量」(12回),「噴射量」(8回),「消費量」など(2回)
「〇〇値」27回	(例)「規定値」(14回),「抵抗値」(8回),「電流値」(2回)
「〇〇力」25回	(例)「駆動力」(5回),「操舵力」(3回),「起電力」(3回)
「〇〇圧」22回	(例)「過給圧」(14回),「空気圧」(3回),「エア圧」(3回)
「〇〇車」21回	(例)「自動車」(17回),「乗用車」(2回)
「〇〇的」20回	(例)「局部的」(5回),「効果的」「効率的」など(2回)
「〇〇液」20回	(例)「電解液」(19回),「制動液」(1回)

(2) 接尾辞一異なり語（上位半数）

「〇〇性」23語	(例)安定性 運転性 応答性 均一性 作業性 始動性 潤滑性 絶縁性 操縦性 耐ノイズ性 耐衝撃性 耐食性 耐熱性 耐摩耗性 着火性 搭載性 導電性 熱可塑性 熱硬化性 飛火性 保持性 密着性 流動性
「〇〇時」22語	(例)加速時 回転時 寒冷時 交換時 作業時 始動時 衝突時 上昇時 制御時 走行時 低温時 高速時 作動時 制動時 操舵時 脱着時 遅角時 直進時 低速時 燃焼時 負荷時 冷間時
「〇〇式」17語	(例)制御式 機械式 斜板式 素子式 直卷式 電動式 電熱式 油圧式 空気式 結線式 懸架式 斜板式 全浮動式 直卷式 抵抗式 粘性式 励磁式

- 「○○力」14語 (例) 圧着力 遠心力 回転力 拡張力 慣性力 貫通力
起電力 駆動力 酸化力 制動力 操舵力 復元力
電磁力 摩擦力
- 「○○量」13語 (例) 含有量 空気量 消費量 積載量 送油量 電氣量
吐出量 日射量 発熱量 噴射量 放電量 摩耗量
冷媒量
- 「○○部」12語 (例) 圧送部 下端部 過冷却部 記憶部 凝縮部 照明部
接地部 中央部 点火部 突起部 発熱部 摩擦部
- 「○○的」11語 (例) 一時的 基本的 機械的 強制的 局部的 効果的
効率的 自動的 全体的 定期的 本格的
- 「○○化」10語 (例) 安定化 活性化 活発化 結晶化 高压化 小型化
微細化 微粒化 平均化 球状化
- 「○○剤」7語 (例) 向上剤 降下剤 潤滑剤 分散剤 着火剤 添加剤
発生剤
- 「○○率」7語 (例) スリップ率 円周率 過剰率 含有率 仕事率 噴射率
放電率

(3) 接頭辞一のべ数 (上位半数)

- 「熱○○」10回 (例) 「熱可塑性」(4回), 「熱硬化性」(4回), 「熱損失」
「熱効率」(各1回)
- 「上○○」8回 (例) 「上死点」(8回)のみ
- 「不○○」8回 (例) 「不安定」(2回), 「不快感」(2回), 「不飽和」(2回),
「不十分」「不完全」(各1回)
- 「耐○○」7回 (例) 「耐ノイズ性」(2回), 「耐摩耗性」(2回), 「耐熱性」
「耐食性」「耐衝撃性」(各1回)
- 「高○○」5回 (例) 「高回転時」(2回), 「高負荷時」「高抵抗型」「高熱価型」
(各1回)
- 「無○○」5回 (例) 「無負荷」(2回), 「無制限」「無段階」「無圧送」(各1回)

(4) 接頭辞一異なり語 (上位半数)

- 「耐○○」5語 (例) 耐ノイズ性 耐摩耗性 耐熱性 耐食性 耐衝撃性
- 「不○○」5語 (例) 不安定 不快感 不飽和 不十分 不完全
- 「熱○○」4語 (例) 熱可塑性 熱硬化性 熱損失 熱効率
- 「高○○」4語 (例) 高回転時 高負荷時 高抵抗型 高熱価型

- 「無〇〇」4語 (例) 無負荷 無制限 無段階 無圧送
 「軽〇〇」3語 (例) 軽自動車 軽荷重 軽負荷時
 「後〇〇」3語 (例) 後後軸 後前軸 後二軸
 「半〇〇」3語 (例) 半割り形 半透明 半導体

「耐〇〇」の5語はいずれも接尾辞「性」を伴っており、「耐〇〇性」という構造になっている。これに似たものとして「熱〇〇」があり、4語のうち2語が「熱〇〇性」である。また、「高〇〇」については、4語のうち2語が「高〇〇時」、2語が「高〇〇型」（「型」は非字音の要素）という構造になっている。このように、ある接頭辞については特定の接尾辞を伴う傾向が見られる。

(5) 意味・機能による分類

次に、データサンプルで抽出した字音接辞を意味・機能で分類する。本稿では、野村（1978）と山下（2004）を参考に、日本語学習者への指導に活用する点を鑑み独自の解釈を加え、以下のように分類を試みた。

接尾辞（69個）

①時間と空間の位置

時 部 面 中 後 上 内 間 点

②具体的な事物・人

剂 物 者 機 器 灯 計 銅 油 簿
 水 室 口 孔 車 証 板 路 材 地
 管 液 軸 図 席 台 棒 気

③抽象的な事物

音 力 光 子 温 片 核 法 体 線
 熱 速

④数量や程度・概念

値 数 量 価 角 限 分 度 率 圧
 差 比

⑤分類や様子

的 式 性 状 形

⑥行為・変化の結果

化 用 製

「①」は時間や空間を表す語の位置を限定するものである。例えば「回転時」は「回転している時（とき）」、「突起部」は「突起している部分」、「強度上」は「強度において」という意味である。「②」「③」「④」はいずれも接尾辞そのものが事物や人、または、ある種概念などを表している。「②」が具体的な事物・人であるのに対し、「③」は抽象的な事物を表す。「④」は抽

象的な事物のうち、数量や程度に関する概念、専門的な概念を表す。例えば、「潤滑剤」は「潤滑のための薬剤」、「走行音」は「走行しているときの音（おと）」、「規定値」は「規定の値（あたい）」という意味である。「⑤」は前置する語に関わる分類の一つであることを示したり、その語から敷衍する性質、状態、形状を表したりする。「⑥」は前置する語に用言の意味を付加する。「化」は「～になる」、「用」は「～にもちいる」、「製」は「～でできた」という意味である。

接頭辞（29個）

①否定

不 非 無 未

②形容・範囲指定

軽 小 後 高 低 新
半 上 下 同 誤 主
数 全 総 定 逆 静

③事物

液 熱 軸 表

④作用

過 被 耐

「①」は後置する語に「しない」「ではない」「ない」「まだない」など「否定の意味を付加する。「②」は語の前に付いて、その語を形容したり、意味範囲を限定したりする。「③」は接頭辞そのものが事物を表し、後置する語が何についてのものであるかを示す。「④」は後置する語に用言の意味を付加する。「過」は「～すぎる」、「被」は「～される」、「耐」は「～にたえる」という意味である。「上死点」「総重量」「半導体」「静荷重」など接頭辞を含む語には専門用語も目立ち、その解釈には、定義を踏まえるなどの配慮が必要であるが、接辞の意味を理解することで、用語の意味を理解する手がかりになる。

6. ま と め

本稿の趣旨は、類似の語構成の語をまとめて、分類、提示することで学習者に便宜を図ろうというものである。字音接辞は、前述した通り、定義が一定でない。それが接辞であるのか、独立した語であるのか、あるいはその中間的なものとして別の名義を与えるかなど、判断者によってまちまちなものとなる。一方で、自動車整備教育の専門文（教科書、試験問題など）には、多くの字音接辞並びにそれに類似する字音要素が見られ、同様の性質を備えた語彙群が存在している。この語彙群を抽出し、整理すれば、学習者にとってよいデータになるのではないかと考えたのである。しかし、字音接辞の定義を異論の余地のない狭い範囲に限定してしまえば、本稿の趣旨が達成しかねる。本稿では、字音接辞の範囲を広く捉え、具体的な意味を持ち典型的な接辞とはいえないものや、類似の性質を持つ語にまで対象を広げることとした。その結果、接尾辞、接頭

辞を合わせて100個近く、それらを含む語彙を異なり数で300語以上抽出することができた。抽出した接辞、語彙の提示に当たっては、量的な分類、意味・機能による分類を試みた。今後は、本稿で提示した各接辞性要素の意味・機能をより深く検討することが必要であると考えている。また、それをどのような形で教育、指導に活用するかも、今後の課題となる。なお、調査の結果抽出した字音接辞、語彙の全リストを末尾に掲載した。リストは、接辞の意味・機能別に整理した上で、それぞれの接辞を含む語彙の、異なり語数の多い順に並べた。

〈参 考 文 献〉

- 清水勝昭, 自動車整備士試験に出現する二字漢字語の調査, 中日本自動車短期大学論叢, 第46号, p.53-p.64 (2016)
- 清水勝昭, 自動車整備士試験に出現する二字漢字語の調査 (2), 中日本自動車短期大学論叢, 第47号, p.49-p.56 (2017)
- 姫野昌子, 語構成のすがた—派生語の構造と意味用法—, 言語文化研究現代語の様相, 放送大学教育振興会, p.41-p.56 (2005)
- 野村雅昭, 接辞性字音語基の性格, 国立国語研究所報告61, 電子計算機による国語研究 IX, 秀英出版, p.102-p.138 (1978)
- 山下喜代, 国語辞典における語構成要素の扱いについて, 早稲田大学日本語研究教育センター紀要, 7巻, p.77-p.108 (1995)
- 山下喜代, 日本語教育における語彙指導—字音接辞の指導を中心に—, 青山語文, 34巻, 青山学院大学, p.142-p.153 (2004)
- (辞書)
- 見坊豪紀ほか編, 三省堂国語辞典第4版, 三省堂 (1992)
- (ウェブ)
- 一般社団法人日本自動車整備振興会連合会 HP, 過去の問題と解答, 自動車整備士資格情報, <http://www4.jaspa.or.jp/jaspahp/user/mechanic/past> (2015年8月8日・2016年8月16日アクセス)
- 国土交通省 HP, プレスリリース『外国人技能実習制度へ自動車整備職種が追加』, 国土交通省自動車局整備課, 平成28年4月1日付, <http://www.mlit.go.jp/common/001125673.pdf> (2017年5月1日アクセス)

通番	接辞種類	意味・機能	接辞	読み方	異なり数	のべ数	語例	語の出 現回数
1	接尾辞	時間と空間の位置	時	じ	22	59	回転時	10
衝突時							10	
作動時							8	
始動時							4	
作業時							3	
加速時							2	
寒冷時							2	
走行時							2	
低温時							2	
低速時							2	
操舵時							2	
負荷時							2	
交換時							1	
上昇時							1	
制御時							1	
高速時							1	
制動時							1	
脱着時							1	
遅角時							1	
直進時							1	
燃焼時							1	
冷間時							1	
23			部	ぶ	12	14	中央部	2
24							発熱部	2
25							圧送部	1
26							下端部	1
27							過冷却部	1
28							記憶部	1
29							凝縮部	1
30							照明部	1
31							接地部	1
32							点火部	1
33							突起部	1
34							摩擦部	1
35							交換後	1
36							始動後	1
37			知覚後	1				
38			起動後	1				
39			噴射後	1				
40			中	ちゅう	4	4	期間中	1
41							冷媒中	1
42							回転中	1
43							大気中	1
44			面	めん	4	5	摩擦面	2
45							上下面	1
46							内外面	1
47							反射面	1
48			間	かん	3	5	端子間	2
49							気筒間	2
50							路面間	1
51			点	てん	3	10	中性点	6
52							注意点	2
53							流動点	2
54			上	じょう	2	2	強度上	1
55							交通上	1
56			内 剂	ない ざい	1 7	2 17	車室内	2
57							添加剂	8
58							向上剂	3
59							発生剂	2
60							降下剂	1
61							潤滑剂	1
62							分散剂	1
63							着火剂	1
64							反射器	6
65							発振器	3

清水勝昭：専門分野の日本語文における字音接辞

通番	接辞種類	意味・機能	接辞	読み方	異なり数	のべ数	語例	語の出 現回数				
66							検知器	2				
67							開閉器	1				
68							分離器	1				
69							診断器	1				
70							所有者	4				
71							事業者	3				
72							運転者	2				
73							依頼者	1				
74							使用者	1				
75							歩行者	1				
76							生成物	3				
77							酸化物	2				
78							化合物	1				
79							障害物	1				
80							劣化物	1				
81							自動車	17				
82							乗用車	2				
83							小型車	1				
84							大型車	1				
85							後退灯	6				
86							制動灯	6				
87							前照灯	5				
88							警告灯	1				
89							過給機	3				
90							原動機	2				
91							変速機	2				
92							制御室	6				
93							燃焼室	2				
94							油圧室	1				
95							液	えき	2	20	電解液	19
96											制動液	1
97							管	かん	2	3	金属管	2
98											排気管	1
99							気	き	2	15	混合気	11
100											吸排気	4
101							計	けい	2	10	電圧計	8
102											記録計	2
103							孔	こう	2	2	排出孔	1
104											流入孔	1
105							材	ざい	2	4	複合材	2
106											補強材	2
107							図	ず	2	4	指圧線図	3
108											特性曲線図	1
109							板	ばん	2	3	摩擦板	2
110					圧延板	1						
111	油	ゆ	2	2	粘性油	1						
112					潤滑油	1						
113	鋼	こう	1	2	炭素鋼	2						
114	口	こう	1	1	注入口	1						
115	軸	じく	1	1	出力軸	1						
116	証	しょう	1	4	検査証	4						
117	水	すい	1	4	冷却水	4						
118	席	せき	1	1	運転席	1						
119	線	せん	1	3	磁力線	3						
120	台	だい	1	1	試験台	1						
121	地	ち	1	2	寒冷地	2						
122	簿	ぼ	1	2	記録簿	2						
123	棒	ぼう	1	1	溶接棒	1						
124	路	ろ	1	1	未舗装路	1						
125	抽象的な事物		力	りよく	14	25	駆動力	5				
126							操舵力	3				
127							起電力	3				
128							圧着力	2				
129							回転力	2				
130							電磁力	2				

通番	接辞種類	意味・機能	接辞	読み方	異なり数	のべ数	語例	語の出現回数
131							遠心力	1
132							拡張力	1
133							慣性力	1
134							貫通力	1
135							酸化力	1
136							制動力	1
137							復元力	1
138							摩擦力	1
139			体	たい	4	8	磁性体	2
140							絶縁体	2
141							発熱体	2
142							抵抗体	1
143							非金属	1
144			音	おん	2	2	金属音	1
145							走行音	1
146			熱	ねつ	2	2	圧縮熱	1
147							燃焼熱	1
148			温	おん	1	1	冷却水温	1
149			核	かく	1	1	火炎核	1
150			光	こう	1	2	反射光	2
151			子	し	1	2	回転子	2
152			速	そく	1	2	車輪速	2
153			片	へん	1	2	水晶片	2
154			法	ほう	1	9	車両法	9
155		数量や程度・概念	量	りょう	13	37	吐出量	12
156							噴射量	8
157							消費量	2
158							送油量	2
159							電気量	2
160							発熱量	2
161							放電量	2
162							摩擦量	2
163							含有量	1
164							空気量	1
165							日射量	1
166							冷媒量	1
167							積載量	1
168			率	りつ	7	9	噴射率	3
169							スリップ率	1
170							円周率	1
171							過剰率	1
172							含有率	1
173							仕事率	1
174							放電率	1
175			圧	あつ	6	22	過給圧	10
176							エア圧	3
177							空気圧	3
178							規定圧	2
179							指示圧	2
180							大気圧	2
181			値	ち	6	27	規定値	14
182							抵抗値	8
183							電流値	2
184							基準値	1
185							設定値	1
186							補正值	1
187			比	ひ	3	8	速度比	2
188							空燃比	3
189							変速比	3
190			価	か	2	4	オクタン価	2
191							セタン価	2
192			差	さ	2	4	圧力差	2
193							電位差	2
194			角	かく	1	1	作動角	1
195			限	げん	1	1	最小限	1

清水勝昭：専門分野の日本語文における字音接辞

通番	接辞種類	意味・機能	接辞	読み方	異なり数	のべ数	語例	語の出 現回数										
196	分類や様子		数	すう	1	2	振動数	2										
197							度	ど	1	1	優先度	1						
198							分類や様子		分	ぶん	1	1	硫黄分	1				
199													性	せい	23	41	着火性	4
200													熱可塑性	4				
201													熱硬化性	4				
202													安定性	3				
203													始動性	3				
204													運転性	2				
205													絶縁性	2				
206													耐ノイズ性	2				
207													耐摩耗性	2				
208													導電性	2				
209													応答性	1				
210													均一性	1				
211													作業性	1				
212													潤滑性	1				
213													操縦性	1				
214													耐衝撃性	1				
215													耐食性	1				
216													耐熱性	1				
217													搭載性	1				
218													飛火性	1				
219													保持性	1				
220													密着性	1				
221													流動性	1				
222	式		式	しき	17	43							制御式	15				
223													油圧式	6				
224							懸架式	4										
225							機械式	2										
226							斜板式	2										
227							直巻式	2										
228							電動式	2										
229							電熱式	2										
230							素子式	1										
231							調整式	1										
232							空気式	1										
233							結線式	1										
234							抵抗式	1										
235							粘性式	1										
236	浮動式	1																
237	励磁式	1																
238	的		的	てき	11	20	局部的	5										
239							一時的	2										
240							基本的	2										
241							効果的	2										
242							効率的	2										
243							自動的	2										
244							機械的	1										
245							強制的	1										
246							全体的	1										
247							定期的	1										
248							本格的	1										
249	状		状	じょう	2	2	円弧状	1										
250							粒子状	1										
251	行為・変化の結果		形	けい	1	1	半割り形	1										
252							化	か	10	15	活性化	3						
253											安定化	2						
254											活発化	2						
255											小型化	2						
256											球状化	1						
257											結晶化	1						
258											高圧化	1						
259											微細化	1						
260											微粒化	1						

通番	接辞種類	意味・機能	接辞	読み方	異なり数	のべ数	語例	語の出現回数
261							平均化	1
262			用	よう	5	11	走行用	5
263							検出用	2
264							点火用	2
265							自家用	1
266							制御用	1
267			製	せい	1	3	合金製	3
268	接頭辞	否定	不	ふ	5	8	不完全	1
269							不飽和	2
270							不安定	2
271							不快感	2
272							不十分	1
273			無	む	4	5	無負荷	2
274							無圧送	1
275							無制限	1
276							無段階	1
277			非	ひ	2	2	非金属	1
278							非作動時	1
279			未	み	1	1	未舗装路	1
280		形容・範囲指定	高	こう	4	5	高回転時	2
281							高抵抗型	1
282							高熱価型	1
283							高負荷時	1
284			軽	けい	3	4	軽荷重	2
285							軽負荷時	1
286							軽自動車	1
287			後	こう	3	3	後後軸	1
288							後前軸	1
289							後二軸	1
290			半	はん	3	4	半導体	2
291							半割り形	1
292							半透明	1
293			逆	ぎゃく	2	3	逆方向	2
294							逆起電力	1
295			静	せい	2	2	静荷重	1
296							静電気	1
297			低	てい	2	3	低回転時	2
298							低熱価型	1
299			下	か	1	1	下死点	1
300			誤	ご	1	4	誤作動	4
301			主	しゅ	1	2	主制動	2
302			小	しょう	1	1	小範囲	1
303			上	じょう	1	8	上死点	8
304			新	しん	1	1	新所有者	1
305			数	すう	1	1	数種類	1
306			全	ぜん	1	1	全浮動式	1
307			総	そう	1	3	総重量	3
308			定	てい	1	1	定速度	1
309			同	どう	1	1	同速度	1
310		事物	熱	ねつ	4	10	熱硬化性	4
311							熱可塑性	4
312							熱効率	1
313							熱損失	1
314			液	えき	1	1	液冷媒	1
315			軸	じく	1	3	軸出力	3
316			表	ひょう	1	1	表面積	1
317		作用	耐	たい	5	7	耐ノイズ性	2
318							耐摩耗性	2
319							耐衝撃性	1
320							耐食性	1
321							耐熱性	1
322			過	か	1	1	過冷却部	1
323			被	ひ	1	1	被牽引	1